

令和 3 年度第 1 回墨田区地域包括支援センター運営協議会議事要旨

日 時：令和 3 年 8 月 23 日（月） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

場 所：墨田区役所 12 階 121 会議室（オンライン同時開催）

出席者（敬称略）

会長：鏡諭

委員：成玉恵、山室学、松田浩、北總光生、堀田富士子、湯川淳、鎌形由美子、岩田尚明、栗田陽、濱田康子、小谷庸夫、佐藤和信、村山厚子、福島洋子、後藤隆宏

事務局その他：高齢者福祉課長、福祉保健部副参事（地域包括ケア推進担当）、介護保険課長、高齢者福祉課係長・主査 6 名、高齢者支援総合センター 8 名

議 事

1 会長及び副会長選出

・本年 4 月 1 日から新たな任期での委員委嘱（令和 6 年 3 月 31 日まで）が行われたことに伴い、委員の中から会長及び副会長の選出を行い就任した。

2 令和 2 年度事業報告及び収支報告について

・事務局が第 7 期墨田区高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室事業実施方針による取組実績について説明した。

・各高齢者支援総合センターから事業報告について説明を行った。

・収支報告の精算について、事務局から説明を行った。

3 その他

・厚生課から、本年 10 月から八広はなみずき高齢者支援総合センターにて運営を開始する地域福祉プラットフォームについての報告があった。

主な発言等

1 令和 2 年度事業報告及び収支報告について

（質問）むこうじま高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室の報告書について、この圏域における高齢者人口だが、平成 28 年度の 3 月末に対して、令和元年度の 12 月末は大きく減っている。要因は何か分析されているか。

（回答）毎月圏域内の高齢者の転出者・死亡者の状況を確認しているが、横ばいの印象を持っているため分析には至っていない。

（質問）機能強化型における鏡会長の研修について、研修成果にある「指標の概念は理解したがデータ取得方法や内容の理解について今後も理解を進めていきたい」という部分について具体的に伺いたい。

（回答）日頃より、事業のアウトカム評価をどのように表すべきか分からなかったため、鏡会長に研修を行っていただいた。データの取得方法を含めて鏡会長から PDCA サイ

クルの手法を学んだ。また、現在は成副会長に協力いただき一部のセンターに対し、事業の成果の見せ方について助言をいただいている。

(質問) なりひらでは全数実態把握訪問をしているということは理解した。今後、閉じこもり防止に向けて感染症対策に気を付けた取り組みをしていくということか。

(回答) 現在、なりひらホーム近くの広場や公園等の屋外4か所で、体操を主催していた方々と体操活動をしている。暑い時、寒いときは休止し、参加者もかなり減ってはいるが、そうした取り組みをしようと考えている。

その他

令和3年度第2回は令和3年11月16日(火)午後1時30分から開催する。